

### Ⅲ 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

#### 1 最終需要財

9年の県内最終需要財の生産指数は119.0で、対前年比3.1%増加した。一方、在庫指数は93.8で、対前年比8.6%増加した。

#### 1-1 投資財

9年の県内投資財の生産指数は114.0で対前年比0.4%増加した。一方、在庫指数は89.6で対前年比6.8%増加した。

#### 1-1-1 資本財

9年の県内資本財の生産指数は126.9で、対前年比8.7%増加した。四半期別にみると、1～3月期は125.5（対前期比10.3%増）、4～6月期は132.5（同5.6%増）、7～9月期は125.9（同5.0%減）、10～12月期は124.9（同0.8%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は96.5で、対前年比12.3%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は110.5（対前期比26.4%増）、4～6月期は103.2（同6.5%減）、7～9月期は100.6（同2.6%減）、10～12月期は75.6（同24.9%減）となった。

#### 1-1-2 建設財

9年の県内建設財の生産指数は95.5で、対前年比12.4%減少した。四半期別にみると、1～3月期は96.4（対前期比11.3%減）、4～6月期は95.4（同1.0%減）、7～9月期は93.4（同2.1%減）、10～12月期は96.3（同3.0%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は79.8で、対前年比1.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は80.0（対前期比2.0%増）、4～6月期は78.1（同2.4%減）、7～9月期は77.9（同0.3%減）、10～12月期は83.0（同6.6%増）となった。

#### 1-2 消費財

9年の県内消費財の生産指数は128.1で、対前年比7.8%増加した。一方、在庫指数は103.0で、対前年比12.2%増加した。

#### 1-2-1 耐久消費財

9年の県内耐久消費財の生産指数は151.4で、対前年比12.3%増加した。四半期別にみると、1～3月期は138.1（対前期比18.4%増）、4～6月期は162.1（同17.4%増）、7～9月期は156.7（同3.3%減）、10～12月期は149.7（同4.5%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は108.9で、対前年比15.4%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は92.6（対前期比19.0%増）、4～6月期は111.0（同19.8%増）、7～9月期は141.3（同27.4%増）、10～12月期は88.1（同37.7%減）となった。

## 1-2-2 非耐久消費財

9年の県内非耐久消費財の生産指数は104.0で、対前年比1.8%増加した。四半期別にみると、1～3月期は107.4（対前期比5.0%増）、4～6月期は101.5（同5.6%減）、7～9月期は100.3（同1.1%減）、10～12月期は106.7（同6.3%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は95.4で、対前年比7.8%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は97.2（対前期比9.1%増）、4～6月期は91.9（同5.4%減）、7～9月期は95.7（同4.1%増）、10～12月期は96.5（同0.9%増）となった。

## 2 生産財

9年の県内生産財の生産指数は113.3で、対前年比8.6%増加した。一方、在庫指数は100.7で、対前年比3.7%減少した。

### 2-1 鉱工業用生産財

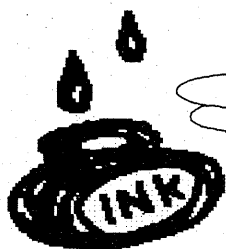
9年の県内鉱工業用生産財の生産指数は113.6で、対前年比8.9%増加した。四半期別にみると、1～3月期は103.1（対前期比3.6%減）、4～6月期は115.9（同12.4%増）、7～9月期は117.3（同1.2%増）、10～12月期は119.4（同1.8%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は100.4で、対前年比3.9%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は101.4（対前期比3.3%減）、4～6月期は96.7（同4.6%減）、7～9月期は101.4（同4.8%増）、10～12月期は102.3（同0.9%増）となった。

### 2-2 その他用生産財

9年の県内その他用生産財の生産指数は100.8で、対前年比1.5%減少した。四半期別にみると、1～3月期は101.9（対前期比3.6%減）、4～6月期は99.6（同2.2%減）、7～9月期は99.4（同0.3%減）、10～12月期は102.6（同3.2%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は118.2で、対前年比11.8%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は108.0（対前期比2.2%増）、4～6月期は109.6（同1.5%増）、7～9月期は124.1（同13.3%増）、10～12月期は133.8（同7.8%増）となった。



### 「季節調整」とは

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、ゴールデンウィークのある4、5月や、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、それは本当に生産が下がったと考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月との比較や四半期ごとの比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。